重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	市のいたるところに緑があり、自然と調和した景観がある	
施策名	緑が豊かで自然と調和した景観のあるまちをつくる	No.24

年度	平成28年度
責任部長	建設部まちづくり担当部長
主担当課長	公園緑地課長
関係課	農業振興課、都市計画課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
一宮市は緑が多いと思う人の割合（%）	↗	49.6	53.1	57.0	56.7	55.6	59.1	56.7
		59.1	59.1	58.5	58.6	61.2		62.9
身近に気に入っている自然を感じる場所がある人の割合（%）	↗	50.1	56.5	59.3	59.5	60.5	58.6	58.4
		58.6	59.4	59.8	61.4	60.3		64.6
市街化区域の都市公園面積（ha） 【※市内の市街化区域面積　3,802ha】	↗	－	－	－	－	－	－	－
		55.59 (1.46%)	55.86 (1.47%)	56.31 (1.48%)	57.12 (1.50%)	57.05 (1.50%)		56.47 (1.49%)

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

地球温暖化等のため地球環境への関心が高まっており、緑や自然のあり方について注目されている中、個人・家庭では、ガーデニング、家庭菜園等、緑に関する取り組みに関心が高まり、町内会・ボランティア団体・民間企業等では、緑化ボランティア等の活動が注目され増加しており、自然環境に対する関心が高まっている。また学校では花壇の制作や植樹祭への参加、ビオトープの観察等、環境学習の場が増えている。さらには国・県による緑化に対する新たな施策等が増えている。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	A 改善傾向	アンケートによる「まちづくり指標」のうち「一宮市は緑が多いと思う人の割合」については、2.6%増加し、「身近に気に入っている自然を感じる場所がある人の割合」については、1.1%とわずかに減少した。しかしながら、「市街化区域の都市公園面積」については、目標値を達成していることから、今後も計画的に整備を進めることに加え、民有地緑化をより一層推進することで、改善傾向で推移すると想定される。

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	
次年度の改善計画	

＊＊＊